

4 . 将来像

(1) 地域の将来像

『里山や農地の自然環境に触れ合い、
街道沿いの歴史と文化を大切にして活気を育み
水辺の環境で集い、交流する北東部のまち』

自然や歴史・文化の資源に包まれた南北に広がる地域の中に、農地と良好な環境の住宅地や歴史に裏付けられた千葉街道の活気ある中心市街地が存在する北東部地域の特徴と、これら特徴を大切に思う市民の心が伝わることを目指すものです。



中山法華経寺の塔



(2) 地域づくりの目標

豊かな自然環境を大切に育むまちづくり

地域の成り立ちを示す台地と谷津、斜面林や大柏川の水辺、人々の暮らしを支える農地等の様々な自然環境に多くの人々が親しみ、また、大切に守る意識が高まるまちをつくります。

自然や歴史と共生した住みやすいまちづくり

農地や緑地・河川などの自然環境と寺社や貝塚等の歴史環境と調和する潤いと安らぎのある住みやすいまちをつくります。

歴史と芸術、文化を大切にした活気のあるまちづくり

千葉街道沿いに栄えた寺社やその参道、黒松のある街並み等の歴史、かつて文人が愛着を持ち、住み、創作に勤しんだという芸術性を継承し、文化の拠点を育みながら、活気ある中心市街地をつくります。

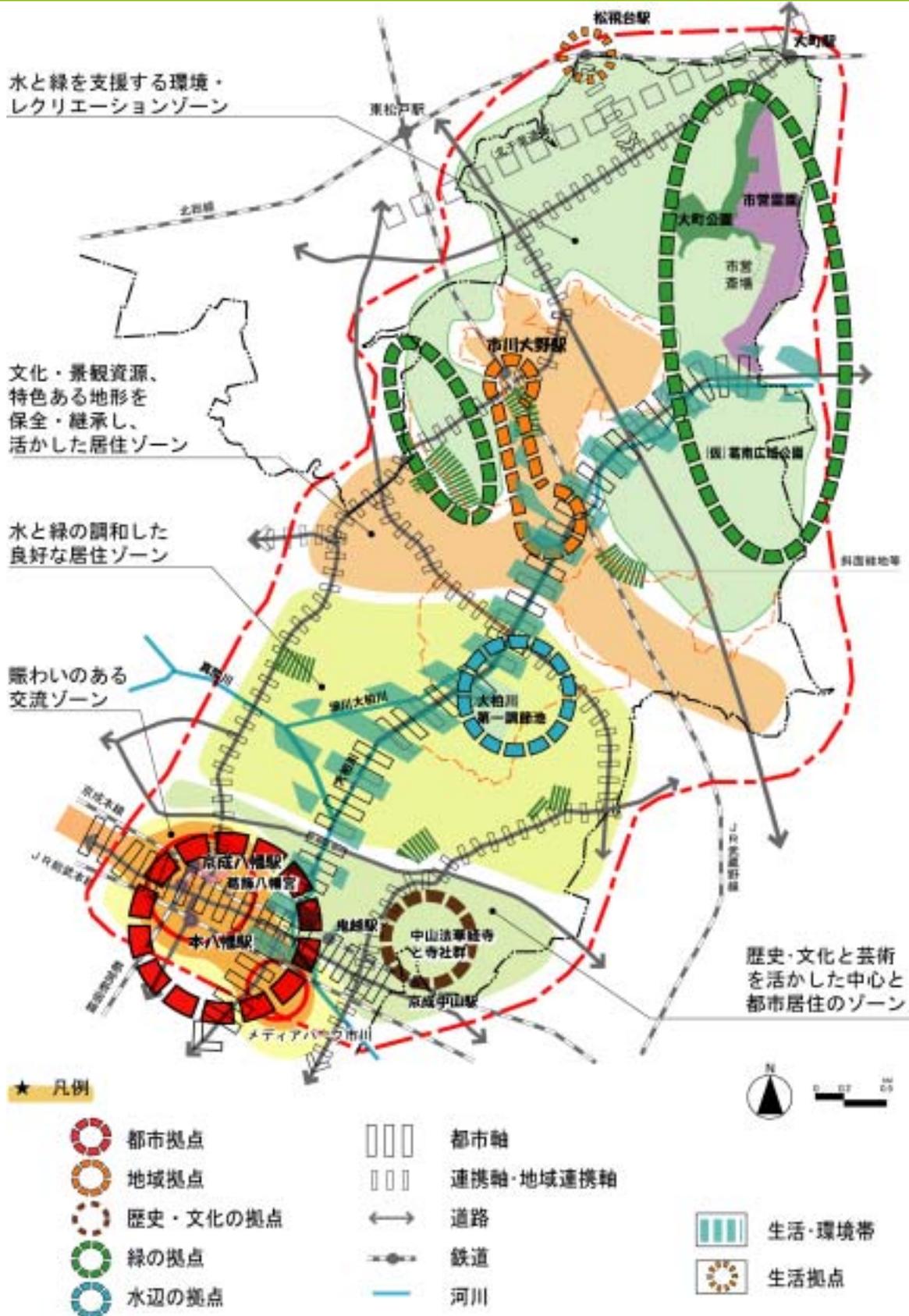
誰もが安心して住み続けられる優しいまちづくり

安全な道路環境や魅力にあふれた河川や公園の環境等、アメニティーの向上と地域ぐるみで防災・防犯の活動に取り組む、誰もが安心して住み続けられる互いに優しいまちをつくります。

多世代が交流するコミュニティのあるまちづくり

地域の特性を活かして創られる水や緑、歴史と文化、商業・業務地などの各拠点を多くの人々が訪れ、多くの世代が交流しコミュニケーションの生まれるまちをつくります。

(3) 地域の将来構想



将来構造図の説明

- : 全体構想で位置づけられた拠点や軸
- : 地域別構想で位置づけられた拠点や軸およびゾーン

(1) 拠点

都市拠点 本八幡駅周辺～メディアパーク市川周辺

地域拠点 市川大野駅周辺～南大野地区一帯

生活拠点 松飛台駅周辺

隣接市と接する鉄道駅周辺、地域住民の移動等の利便性を支えるとともに、地域外の住民を自然と農へと誘う、交流を温める場所

歴史・文化の拠点

法華経寺及びその寺社群が点在する一帯

寺社や史蹟などの歴史・文化的資源やその風情を守りつつ積極的に活かしていく場所

緑の拠点

大町公園～(仮)葛飾広域公園の一帯、大野調整池周辺

水辺の拠点 大柏川第一調節池周辺

(2) 軸

都市軸

国道14号周辺

(都)3・4・18号(浦安鎌ヶ谷線)周辺

連携軸

(都)3・5・28号(国分下貝塚線)周辺～(都)3・4・15号(本八幡駅前線)周辺～(都)3・3・9号(柏井大町線)周辺～国道464号周辺

地域連携軸 (都)3・4・15号(本八幡駅前線)周辺

木下街道((都)3・5・26号)周辺

国道464号と松飛台を結ぶ現道

生活環境帯 大柏川・派川大柏川・真間川につながる一帯

沿道緑化やポケットパークの設置等、河川の自然環境を活かし、親水性の高い、人と自転車が快適に移動できる生活に身近な水辺の空間帯

(3) ゾーン

水と緑を支援する環境・レクリエーションゾーン

地域の北部(大町・大野町、柏井町)

緑の拠点を核に、良好な自然環境や農環境の維持を図り、これらを活かしたレクリエーション機能を有するゾーン

文化・景観資源、特色ある地形を保全・継承し、活かした居住ゾーン

市川大野駅周辺・南大野北側・北方町と柏井町の境界付近

点在する寺社、谷津と斜面緑地、地形の特徴等の地域特性を活かした住環境を形成するゾーン

水と緑の調和した良好な居住ゾーン

地域の中央部(下貝塚・宮久保・東菅野・本北方・北方町・若宮)

河川等(大柏川・真間川・大柏川第一調節池)の水辺環境や斜面林等の緑地環境と調和する住環境を形成するゾーン

歴史・文化と芸術を活かした中心と都市居住のゾーン

地域の南部(八幡・北方・高石神・中山)

著名な寺社や文化人の旧宅等の歴史・文化・芸術資源を活用しつつ、風致地区の黒松・巨木等の自然的環境や商業・業務・行政等の都市機能と調和する住環境を形成するゾーン

賑わいのある交流ゾーン

本八幡駅～メディアパーク市川周辺一帯

国道14号沿道

都市拠点を核に、都市軸を活かし、商業・業務等の拠点機能の充実を図るゾーン